

6月の寄贈品コーナー 天体観察会 30年一星空をながめつづけてー

2014年 6月14日(土) ~7月13日(日)

博物館の天体観察会、30年の歩みを展示します。

「天体観察会」は、1983年4月に星や宇宙に関心のある中学生、高校生を中心にした天体観察を体験する会として始まりました。土屋にある「七国荘」で流星群など天文現象の宿泊観測や、惑星やほうき星などの天体の勉強会、日食、月食の観察、スターウォッチング調査、星を見る会の手伝い、そして特別展の準備協力など、興味深い天文分野の活動を楽しんできました。

展示では30年の様々な活動を通して積み重ねてきた成果、制作した模型、スターウォッチング調査記録、中高生だった仲間たちがいつの間にか中高年になった今の声などを紹介します。



1980年、「望遠鏡の鏡をみがこう」で一生懸命に鏡を研磨する中学生、高校生たち



2003年特別展「火星大接近 2003」で、火星の地形模型を製作したメンバー